

適正利用・エコツーリズム検討会議の今後の運営について

【検討会議における主要な議題】

今後は戦略に基づく議論の仕組みを適正に運用していくことが基本。想定される主要な議題は以下の通り。

- ① 地域関係団体等から出された提案の取り扱いの検討及び提案に関する部会設置の承認
- ② 部会の検討状況の報告
- ③ 提案実施の承認
- ④ 実施されることとなった事業等の状況の報告
- ⑤ 各種モニタリング結果の評価
- ⑥ その他（知床の利用に関する課題 等）

【検討会議の構成】

- 検討会議の構成メンバーは別紙のとおり。座長は専門家より選出。事務局は釧路自然環境事務所、北海道森林管理局、北海道が担当。
- 専門委員は、委員の専門分野以外の提案がされた場合等に、必要に応じて参加。
- 必要に応じて、委員・専門委員以外の有識者、利害関係者等の個人・団体・行政機関に参加を要請。

【構成メンバーの役割】

- 地域関係団体、関係行政機関は必要に応じた事業等の提案、実施されることとなった提案への支援、提案実施の承認の判断等を実施。
- 座長は合意形成に努めつつ、会議の進行を担当。
- 委員及び専門委員は、それぞれの専門分野に関する知見をもとに科学的な立場から助言。

【開催回数】

- 提案に基づき議論するため、提案の提出状況に応じて年1～2回程度。

【部会の設置】

- 提案の実現可能性の具体的な検討等のため、必要に応じて部会を設置。議題に関連する検討会議構成メンバーが参加。
- 専門委員は、委員の専門分野以外の提案がされた場合等に、必要に応じて参加。
- 必要に応じて、委員・専門委員以外の有識者、利害関係者等の個人・団体・行政機関に参加を要請。

(別紙)

知床世界自然遺産地域 適正利用・エコツーリズム検討会議 委員及び構成団体一覧

1. 委員

- 敷田麻実 北海道大学観光学高等研究センター 教授【座長・委員】
愛甲哲也 北海道大学大学院農学研究院 准教授【委員】
小林昭裕 専修大学経済学部 教授【委員】
中川元 斜里町立知床博物館 前館長【委員】
石川幸男 弘前大学白神自然環境研究所 教授【専門委員】
庄子康 北海道大学大学院農学研究院 准教授【専門委員】
間野勉 北海道立総合研究機構 環境・地質研究本部企画調整部 企画課長【専門委員】

2. 地域関係団体

- ウトロ地域協議会
知床斜里町観光協会
知床羅臼町観光協会
羅臼町・知床世界自然遺産協議会
知床ガイド協議会
(財)知床財団
知床エコツーリズム推進協議会
知床自然保護協会
斜里山岳会
羅臼山岳会
羅臼遊漁釣り部会
斜里町小型観光船協議会
知床羅臼観光船協議会
(財)自然公園財団 知床支部

3. 関係行政機関

- 斜里町
羅臼町
環境省釧路自然環境事務所
林野庁北海道森林管理局
北海道